

I 調査の概要

Outline of survey

1. 調査の目的

大学図書館は、大学における教育・研究に必須の基本的施設であり、その整備・充実を図ることは教育・研究の発展のために極めて重要です。

各大学及び行政当局においては、今後とも積極的に大学図書館の改善・充実に努める必要があり、そのための基礎資料とするとともに学内外の関係者の理解と認識を深めるため、大学図書館の実情を具体的・実態的に把握する目的で調査を行ったものです。

2. 調査の対象

調査対象の大学は、国立 87、公立 77、私立 544 の計 708 大学です。

なお、調査の単位は、国公立大学の中央図書館(本館)及び分館並びに学部、教養部、附置研究所、附属病院及び併設短期大学部(独立した図書館・室を有していない場合は関係の図書館・室に含める。)の部局図書館・室です。

3. 調査項目及びその構成

[1. 総括事項]

調査項目
大学規模、図書館・室数、平成 15 年度大学総経費

[2. 個別事項]

区分	調査項目
A. 図書館・室の職員数 (平成 16 年 5 月 1 日現在)	総数、職務内容別、資格別、年齢別、男女別内訳
B. 施設 (平成 16 年 5 月 1 日現在)	総延面積、用途別面積、閲覧座席数、書架収容力
C. 蔵書数 (平成 15 年度末日現在)	図書、雑誌、その他
D. 図書・雑誌受入数 (平成 15 年度実績)	図書受入数、雑誌受入数
E. 視聴覚資料・機器数 (平成 15 年度末日現在)	視聴覚資料数、視聴覚機器数

区 分	調 査 項 目
F. サービス状況 (平成 15 年度実績)	開館状況、館外貸出冊数、参考業務利用件数、文献複写件数、図書館間相互協力
G. 経費 (平成 15 年度実績)	図書館資料費、図書館・室運営費、図書館資料費の出所別内訳、図書館・室運営費の出所別内訳
H. 外部委託業務 (平成 15 年度実績)	業務別の外部委託状況
I. 図書館の公開 (平成 15 年度実績)	学外者の図書館の利用状況
J. 電子図書館的機能について (平成 15 年度実績)	コンピュータの導入、端末利用目的及び台数、目録所在情報の電子化、国立情報学研究所との接続、図書館のホームページの開設、図書館ホームページでのサービスの提供、CD-ROM・DVD-ROM によるサービスの提供及びタイトル数

調査項目の詳細については、付表2「平成 16 年度大学図書館実態調査票」(p.66～72)を参照して下さい。

4. 回答率

100%

5. その他

(1)調査の種類

統計報告調整法第3条に基づく統計調査(承認統計調査(通称))

(2)調査の期日及び機関等

平成 16 年 6 月 9 日付け 16 文科振第 275 号「平成 16 年度大学図書館実態調査について(依頼)」で、文部科学省研究振興局長から各国公立大学(短期大学を除く)附属図書館長に対し、平成 16 年 5 月 1 日現在で調査し 8 月 16 日までに調査票を提出するように依頼しました。

(3)調査の集計方法

本調査の集計結果において、母数となる大学数、学生数、図書館職員数、教員数、大学図書館数は、特に注記している箇所を除き、調査年度の 5 月 1 日現在の数値です。